

オオキンケイギクは 「特定外来生物」です

この花に注意!



①
自宅で栽培する

②
生きたまま運ぶ

③
野外に植える

などが
禁止されています。

「特定外来生物」とは?

もともと日本にいなかったのに、人間の活動などによって海外から持ち込まれ、野生化した生きものを「外来生物」と言います。特に、生態系や人の生命・身体などに重大な被害を及ぼす恐れのあるものは、外来生物法により「特定外来生物」に指定されています。

特定外来生物に指定された生きものは、①飼育・栽培・保管すること、②運搬・輸入・譲渡(販売)すること、③野外へ放つ・植える・種をまくこと、などが原則禁止されています。

これらの項目に個人が違反した場合、3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金が科せられますので、ご注意ください。

オオキンケイギクってどんな植物？

- *オオキンケイギク(学名:Coreopsis lanceolata)は、北アメリカ原産のキク科の多年草です。
- *茎の高さは30～70cmで、**毎年5～7月ごろに、コスモスに似た黄色く目立つ花を咲かせます。**
- *荒地でもきれいな花を咲かせることから、観賞用・緑化用として日本に移入されました。
強い性質のため各地で野生化し、道路の脇や河川敷、空地などでよく見られます。
- *繁殖力が非常に強く、他の植物に届く光を遮ってその生育を抑圧するなど、
もともと地域に分布していた在来の植物が衰退する一因として危惧されています。

名古屋市内でも繁殖が拡大しています!!



市内のため池



市内の河川敷



拡散防止にご協力ください。

オオキンケイギクが繁殖すると、生態系へ悪影響を与える恐れがありますので、栽培したり、家に持ち帰ったりしないようお願いします。また、身近に生えているオオキンケイギクを抜き取る場合は、以下の点にご注意ください。

少量を処理する場合

ご自宅の庭に生えている場合などで、少量を抜き取る場合は、根から引き抜き、広がらないようその場で2～3日天日にさらして枯死させた後、種の拡散を防ぐため、ビニール袋などに密閉して燃えるごみとして処分しましょう。

大量に処理する場合

自治体や団体などの活動で大量に駆除することを計画している場合は、市や県などその土地の管理者・所有者までお問い合わせください。



目撃情報をお寄せください!

協議会では、名古屋市内におけるオオキンケイギクの目撃情報を市民の皆さまから募集しています。

下記の**ウェブサイトから、見つけた月日や場所、写真などの情報をご登録ください。**

いただいた情報をもとに、オオキンケイギクの侵入状況を把握し、今後の防除方法などの検討に役立てます。

皆さまからの情報を心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

なごや生物多様性保全活動協議会
(事務局:名古屋市環境局なごや生物多様性センター)

ウェブサイトURL	http://www.bdnagoya.jp	bdnagoya	検索
住 所	〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地		
電話番号	052-700-7792 (受付時間 平日8時45分～17時30分)		
FAX	052-839-1695		